

## 平成28年度 第2回苫小牧市民文化芸術審議会 会議概要

日 時：平成28年11月28日（月）13：30～14：20

会 場：苫小牧市役所第2庁舎 2階南会議室

出席委員：千葉会長、松原副会長、伊藤委員、内村委員、椎原委員、中川委員、  
則定委員 計7名

欠席委員：安藤委員、坂井委員、宮脇委員 計3名

事務局：松浦教育部長、瀬能教育部次長  
生涯学習課 鍛冶課長、木戸主査、斉藤主査

---

1 開会 （進行）鍛冶課長

2 千葉会長挨拶

3 議事 （進行）千葉会長

(1)平成28年度苫小牧市民文化芸術振興助成事業の追加申請について

平成28年度助成事業の追加分として申請のあった3件について、事務局より説明(斉藤主査)

<質疑>

会 長：2番目の講演会「文化を編む」について、収支予算書の自己財源に、  
会費等と書いてありますが、どういったものでしょうか。

事務局：理事の方からの会費となっております。

会 長：リアス・アーク美術館というのは、どういった美術館ですか。

事務局：宮城県気仙沼市にある美術館で、東日本大震災の被災現場写真や被災物、ガレキとか、歴史資料など、500点ほど展示してあるそうです。その学芸員である、山内氏を講師に、当時の状況であるとか、被災物も文化であると捉えていまして、その辺のお話もしていただけるようです。

会 長：他に、この案件についてのご質問がなければ、原案通りということでよろしいでしょうか。

各委員：意義なし。

委 員：3番目の「苫小牧市立緑小学校合同スクールバンド同好会」について、  
年1回開催しているそうですが、今年はなぜ申請したのでしょうか。

事務局：事業の募集を、ホームページを見て初めて知ったということで、申請

したと聞いております。

会 長：これはクラブ活動だと思いますが、例えば、中学校の吹奏楽部の定期演奏会は助成の対象となるのでしょうか。

事務局：いえ、部活動は対象になりません。

副会長：それでは、同好会ということであれば対象になりますか。

事務局：他から補助金を貰っていたり、会場使用料の免除を受けている場合は助成の対象になりませんが、今回の場合は助成の対象になると考えております。

副会長：同好会と部活動の分け方はどういった基準でされているのでしょうか。あと、今回は合同同好会とありますが、緑小学校の人達だけではないんですか。

事務局：緑小学校と美園小学校のとの合同と聞いております。

委 員：その他の出品料・広告料とありますが、これは広告宣伝のため、パンフレット等にも掲載するのでしょうか。要するに、企業さんからの支援も入っていますね。

事務局：そういった部分も入っております。

委 員：広告料が沢山あって、収支がプラスになった場合は、取り下げるということもありますか。

事務局：そのとおりです。

会 長：先ほどの、同好会と部活動の違いについて、同好会は組織が違うということですが、これは非常に分けづらい部分がありますね。それともう一つ、先ほどの説明で緑小と美園小が一緒に行うということですが、それであれば、美園小の名前も事業名に入らないとおかしいのでは。

事務局：基本の母体としては、緑小学校ということで、具体的な人数はまだ把握しておりませんが、美園小学校の児童が数名、あと賛助ということで、市内で活躍されている演奏者や同校OBの方にもお声を掛けているようです。あと、同好会に関しても、学校とは別で組織していて、指導者に関しても、同好会から教師へ依頼しているというような形で運営していると聞いております。

事務局：補足で、緑小学校は、当然音楽の教員はいますが、バンドを指導する方がなくて、他校の先生に依頼していると聞いています。

会 長：同好会などでも助成できるとなると、もっとPRをすると、まだまだ出てくるかもしれませんね。この辺は検討する必要があるかもしれませんね。

委 員：美園小学校ですが、バンドをしている児童は数名しかいません。私は

以前、東小学校にも赴任してしまして、東小学校にもスクールバンドがありますが、他の学校にバンドがない場合は、近隣からも児童が入るので、合同となります。そうやって活動している学校がいくつかあるので、助成金を活用できるということであれば、同好会はぎりぎりの活動費で運営しているので、PRしていただくと同好会も大変ありがたいと思います。

会 長：他に、この案件についてのご質問がなければ、原案通りということでもよろしいでしょうか。

各委員：意義なし。

※原案とおり、助成事業の追加申請2件の承認を得る。

会 長：1番目の「もっとビートルズ実行委員会」の案件ですが、11月5日に事業を実施して、収支が黒字になるということで取り下げになるようですが、すでに事業が終わっていますよね。そうすると終わっている案件について、助成金の申請が出てくるというのは、この審議会の存在について、色々ご意見が出てくるのではと思いますが、こういったケースはしばしばあるのでしょうか。

事務局：過去の資料も見ましたが、こういったケースは初めてです。

会 長：委員の皆様にお尋ねしたいと思いますが、今回のケースはどのように扱ったら良いのでしょうか。今回の場合だと、事務局で申請書を審査して、審議会で事業内容等を報告してもらおうという方法も一つだと思いますが、今までこういったケースが無かったので、議論にもならなかったと思いますが、こういった案件が出てきた場合は、このやり方で良いか、委員の皆様にお伺いしたいと思います。

委 員：主催者側は11月5日の事業の実施後に審議会があるということは知っていたのでしょうか。

事務局：主催者には、事業が終わってから審議会があるということは申し伝えてありまして、その段階で、もしかしたら決定しないことも有りえますよということで、ご了解をいただいたうえでお受けしております。

委 員：それでは、これで通るということではないんですね。

会 長：どこかに責任を取らせる方法をとっておいた方が、審議会に諮ったら、この申請は駄目でしたって事務局は言えますか。当事者はそれでは済まないですよ。

事務局：そういったこともありますということで、実際には審議会で助成金を決定するというので、それまでは助成金を払いますということは話せませんということは相手方に言ってありまして、それでも11月5

日に事業を実施したいということで、ビートルズ実行委員会から、文化芸術イベントということでしたので、条件付きで申請を受け付けています。

事務局：追加募集の際に、いつからいつまでの期間でということを書いてなかったので、その辺がちょっと問題あったのかなと思っております。

副会長：これが良いのであれば、終わったあとでも合致するものは、あとで申請しても良いとなりませんか。

会長：そういう理屈になりますよね。

事務局：この申請については事業が終わっていますが、審議会までお預かりしますよということです。

副会長：審議会としては同じことですよね、終わったものを審議するということは。

会長：こういった申請は、駄目ということではないです。内容も良いのであれば。ただ、どこかで誰かが責任を取れるような形を取った方が良いのではと考えますが。

副会長：今年度は、まだ予算が残っていますよね。また追加募集をするのでしょうか。

事務局：今のところは考えていません。今回追加募集をして、この2件を認めていただいても、まだ予算が残っています。ただ、募集期間を延ばして募集が出てきた都度、審議会を開催する訳にもいかないと思います。

会長：そういう訳にはいかない。今日は7人の委員さんに来ていただいておりますが、必要定数が集まらなかったら駄目になるし。

頻繁にあるという訳ではないようですが、委員の中で誰も知らない、結果だけ出てきて、良い・悪いという風にできないと思います。

そこでご提案ですが、もし、緊急を要して、事務局が非常に良い取組みだと判断した場合で、審議会を開催する余裕がない場合は、会長・副会長に一任してもらって、事務局と相談して、そこで決める。そして、万が一審議会が駄目だった場合は、会長・副会長が責任を取ればよいというような形にしたら良いのではと思います。

事務局：会長・副会長預かりでも結構ですが、あくまでも申請書の受理ということだけで、助成金を出す・出さないというのは、審議会で決定することなので、事業は、審議会開催のときには終わっているかもしれませんが、申請としては預かると。それで、助成金を出す・出さないは審議会で決定するとお伝えして預かるとしても。

副会長：それってやっぱりまずいんじゃないですか。今回は、収入があつて黒字だから取り下げるといふことですよ。

事務局：これは結果であって、今認めていただいた、2番目・3番目も同じように。

副会長：黒字になったら取り下げるんですね。

ただ、こういった人達は、助成金がないと成り立たないですね。そういった方が審議会前で、助成金がおりにないかもしれないと言われていたとしても、実際通らなかったときに、その人達にとって借金で処理してくださいねと済ましてよいものなのか。

その時、主催者に「どうして助成金がおりにないんですか」と言われても、なかなか説明できないと思う。

あとは、例えば、事業の期間を決めて申請を受け付けるとか。

事務局：事業の期間を決めて募集するということですね。それが一番良い。

会 長：それが普通ですね。

委 員：追加募集は何回もできないですね。

事務局：今までは、基本、次年度の申請を2月に受け付けてましたが、今回は、あまりにも事業が少ないということで、8月に追加募集を行ったんですが、それでも少ないということで、11月に募集を行ったんですが、こういったケース自体が稀だと思います。

副会長：少ないということは、こういった活動をする人も減っているということでもあると思いますが。もしかしたら、経済的に苦しいというものもあるかもしれないですが、助成金は多くの方に利用してもらおうべきであると考えますので、追加募集というのは、大変良いことであると思います。

事務局：今後追加募集をする際には、日程を決めて募集させていただくということでもよろしいでしょうか。

各委員：異議なし。

## (2) その他について

委 員：アーティストサイドから話をすると、主催者側が用意していない音響などに掛かった経費は、自分達の持ち出しになるため、どうにかならないか。

事務局：それは、主催者側に話してもらって、必要経費として計上してもらうということだと思います。

4 閉会 14時20分